



## 「一人でもできる」ことを

今日はこれから対面式+学級タイム+授業で、いよいよ始動といった感じである。Tでは、引き続き委員・係などを決めるが、学級委員が今年もふさわしい二人に決まったので、みんな協力して議事を進めてほしい。

ところで、昨年度末に出された雑誌委員会「いてふ台」の、25Rのクラス紹介記事はなかなかコッていたように思うが、覚えているだろうか？ こういうところでも日比谷生は力を発揮してくれるところが素晴らしいのだが、あれはどうみても（読んでも）村上春樹の「パスティーシュ」であろう。ちなみに、「パスティーシュ」という語、私の愛用している「三省堂新明解国語辞典」には載っていない。「広辞苑（最新版はまだ買ってないので、第6版）」にも載っていない。「精選版日本国語大辞典」には載っていて、「フランス語。文学・美術・音楽などで、他の先行作品を模倣したり、寄せ集めたりしてできた作品」と解説されている。まあ、私としては「パロディ」くらいに意味で使ってみたのだが、せっかくだから覚えておいて下さい。

さて、その「いてひ台」の最後の段落は、「25Rとは、ある意味楽しく、それでいてある意味（勉強の面ではと記しておこう）虚しい、そんなクラスに違いない。」となっている。「勉強の面」が「虚しい」という表現はどうか…というツッコみは置くとして、とにかく25Rの課題が「勉強の面」であったことを、この著者は、そして、おそらくはクラスの全員が（担任も、そして保護者も含め？）認識しているのである。そしてこの課題は、引き続き現在の35Rに引き継がれているわけだ。

今日から授業が開始されるが、この課題を認識して、それをクリアする努力を是非ともしてもらいたいものである。その第一歩が、毎度繰り返しているが、受験にも直結している日比谷の日々の授業を大切にすることである。「授業を大切にする」というのは、何も授業中だけのことではない。もちろん、授業中に集中して理解しようとしたり、その熱心な学習姿勢を通して、担当の先生方の最大のパフォーマンスを引き出すように努めたりすることは大切だが、その背景に、自分で進める予習や復習が控えているのだということを再認識して、一日の学習時間の確保に努めてほしい。勉強時間0分（暗記した単語0個！）と5分（暗記した単語2個…少なすぎ？）では、それが積み重なっていった時に、結果として大きな差を生むのだということを認識したいものだ。

\*

ところで、「いてふ台」の最後から二つ目の段落は、

「うん。だけどね、先生たちの考える勉強は僕らにとっての勉強とは違うメタファーかもしれない。勉強は一人でもできる。だけど行事は一人じゃできないんだ。人が一人で生きていけないようにね。」  
となっていて、なかなかオシャレである。「メタファー」は村上春樹の最新作『騎士団長殺し』のキーワードの一つでもある。そして、ここに述べられていることもまた、とても大切なことであることは言を俟たない。

しかし、だからこそ、「一人でもできる」こと＝勉強もしっかり実行しよう。